

第10回 徳地歴史講座

参加無料  
申込不要

# 「徳地の隊中様」 顕彰の取り組み

～謎が多い徳地の脱隊騒動事件(明治3年)～

明治維新の大業が成った明治3年4月のことです。ここ徳地で、倒幕の戦いから帰って来た諸隊兵が多数処刑されるという大事件が起こりました。処刑は藩(県)内各地で起こり、この年だけで140名近い犠牲者が出る大惨事(事件)になったのです。「脱隊騒動事件」です。この事件の背景には、幕府を倒し凱旋して来た兵士たちへの雑な扱いがありました。戦いの目標を失った軍や藩内部に広がる不正、その中で進められた人員整理…。これは戦後処理の失敗でした。しかし新政府の木戸孝允は、不満を訴える兵を「反乱」と見なして武力で鎮圧し、藩内各地の不穏な動きには「再挙の怖れ」を口実に厳しく弾圧していったのです。

「歴史は勝者が作る」は有名な言葉です。徳地でも、余りに厳しい弾圧・粛清のために多くの歴史の謎が生まれてしまいました。どんな謎か？  
「徳地の隊中様」の顕彰(名誉回復)活動を進めている徳地史談会会長の山田文雄さんに、この謎を整理してもらいましょう。

令和7年

日時

9月13日(土) 10時～12時

場所

山口市立徳地図書館 視聴覚室

講師

山田文雄氏 (徳地史談会 会長)

問い合わせ:山口市立徳地図書館 TEL:0835-52-0043